2027年版鹿児島県民手帳
カバーデザイン2作品の紹介

2027年版鹿児島県民手帳のカバーデザインを令和８年４月21日から６月30日にかけて募集したところ、112点の応募がありました。
専門家の意見を踏まえ鹿児島県統計協会における審査を経て、以下の２作品を採用しました。
カバーデザインは昨年と同様、上記２作品に加え無地の黒と赤の4種類となっています。



「つなぐ、さつま。」
鹿児島県立短期大学1年
川田　衣織

鹿児島の伝統工芸品である薩摩焼をモチーフにデザインしました。薩摩焼が400年以上にわたり人々の暮らしに寄り添いながら変化し、紡がれてきた歴史を、一本の線で表現しています。また、黒もんと白もんをシルエットで配置することで、薩摩焼の多様な魅力を表しました。
一本の線のように、薩摩焼の歴史がこれからもつながり続けてほしいです。



「かごんま」
鹿児島キャリアデザイン専門学校1年
濵田　夏帆

本作品は、「鹿児島弁」をテーマに制作しました。若者の鹿児島弁離れに寂しさを感じ、そこから着想を得て、制作を行いました。また、見る人に鹿児島弁の良さを感じてもらえるよう工夫しました。
鹿児島弁と鹿児島の風景、食べ物の魅力を温かみのある色味と分かりやすいデザインで表現しました。



